

知れば知るほど

長岡京

古墳・史跡を訪ねて

空から見た恵解山古墳

長岡京市の歴史は古く、約 14,000 年前の旧石器時代に温暖なこの地に人々が住み着いたのが始まりといわれています。縄文・弥生時代の遺跡をはじめ、乙訓地域最大の恵解山古墳など、111 基の古墳が見つっています。

約 1500 年前には、継体天皇により「弟国宮」が造られました。

延暦 3 (784) 年には、桓武天皇が、平城京より「長岡京」に遷都され、10 年間都がありました。長岡京市は 2 度にわたって日本の中心となった歴史とロマンの息づくまちです。



さあ、時空を超えた
史跡めぐりに
出かけませんか



① 恵解山古墳 (国指定史跡)

5 世紀前半に造られた乙訓地方最大の前方後円墳で国の史跡に指定されています。副葬品として鉄製の武器類約 700 点が発見されています。このような多量の出土例は珍しく、乙訓地方を支配する首長の墓と見られています。今後、復元・整備を行い、史跡公園となる予定です。



② 土御門天皇 金原御陵

1198 年、第 83 代土御門天皇はわずか 4 才で即位しました。父は後鳥羽天皇、母は源通親の養女、在子。父の院政の下で、12 年後に異母弟順徳天皇に譲位します。後鳥羽天皇が鎌倉幕府を倒そうとした承久の乱 (1221 年) が起こり、挙兵は失敗し、後鳥羽天皇は隠岐へ、順徳天皇は佐渡へ配流されました。土御門天皇は承久の乱には加わりませんが、自ら土佐に身を置いたといわれます。1223 年、幕府によって、都に少しでも近い阿波へ移され、この地で 1231 年 11 月、37 年の生涯を閉じました。亡くなって 2 年後、生母承明門院がこの地に金原法華堂を建てて祀ったのが御陵として残っているといわれています。



③ 埋蔵文化財センター

昭和 60 年 7 月に開所されました。ここは市内にある埋蔵文化財の調査、研究を行い、併せて文化財保護のために普及、啓発活動の拠点として市の歴史と文化のために貢献しています。

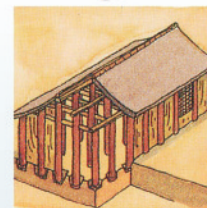
開館時間 月～金 午前 8 時 30 分～午後 5 時、
毎月第 2・第 4 日曜は午前 10 時～午後 4 時。
休館日は上記を除く土・日・祝・年末年始 (12/28～1/4)



四仙騎獣八稜鏡

④ 長岡京の貴族の邸宅跡

長岡第十小学校のグラウンドの北東隅から長岡京時代の大規模な建物跡が発見され、当時の貴族邸宅の一部と考えられています。この地は長岡京右京二条三坊二町にあたり、「大舎人 (おおとねり)」と書かれた墨書土器 (ぼくしょどぎ) も発見されています。また、小学校をつくる時の発掘調査で、「弟国」と郡の名前が書かれた奈良時代の墨書土器が見つっています。



(邸宅復元図)

⑤ 七ツ塚古墳群

6 世紀中頃に造られ、西から東へ 7 つの古墳が並んでいました。継体天皇が弟国宮にいた頃、天皇に従った人物の墓だとする説があります。4 号墳は帆立貝形、2・3・5 号墳は四角い形をした古墳であったことが判明しています。3 号墳には 6 人も埋葬されており、家族墓の性格を持つものと考えられています。いずれも木で造られた棺を直接土中に埋めていました。5 号墳が整備され、公園に隣接して見ることができます。



七ツ塚古墳群復元図

⑥ 今里大塚古墳

古墳時代後期の 7 世紀前半に作られた古墳で山城地方最大級といわれる横穴式石室を持っています。乙訓地方で造られた最後の大型古墳で、現在は整備され公園になっています。また災害時の緊急避難場所にも指定されています。



⑦ 走田 9 号墳

819 年空海の弟子、道雄によって創建された寂照院の奥には、古墳時代の後期 7 世紀初めに造られたと考えられる走田 9 号墳があります。この古墳は地元有力者の墓と推定される円墳で、須恵器 7 点や家形石棺などが出土しました。石室は見学することができます。



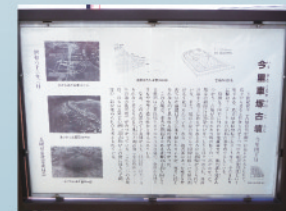
⑧ 今里車塚古墳

4 世紀後半 (古墳時代中期) に造られた全長約 75 メートルの前方後円墳で、周囲に濠を巡らしていました。市内では恵解山古墳に次ぐ大規模なものです。周濠の中から「木製の植輪・冑型の植輪」が出土し、全国的に注目されました。これらは埋蔵文化財センターで見ることができます。

木製植輪



冑型植輪



(現在は説明板のみ)
写真提供=長岡京市教育委員会